

納入事例

Zepp Tokyo 様

上位機種と同等のサウンドとイージーオペレーション。
大型ライブハウスのSRに即応する DiGiCo “SD8”。



▲メインコンソールの DiGiCo “SD8”

■パワー感の確保と明快なオペレーションを重視

“Zepp” といえば、札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・福岡という日本の主要都市に展開し、国内外の有名アーティストが数多く出演することでも有名な大規模なライブハウス。その中でも Zepp Tokyo 様は、収容人数 2,709 人という最大級の規模を誇ります。大きな会場を大音量で満たしパワー感を確保するというに加え、明快なオペレーションを考慮してシステムを大幅に入れ替え、2009 年 6 月より本格運用を開始しています。

■サウンド、操作性、コストパフォーマンス

サウンドと操作性のよさを認められ、メインコンソールとして採用されたのが DiGiCo の “SD8”。正面の視認性に優れたタッチパネルは自由度が高く、乗り込みのオペレーターさんもすぐに慣れてしまうと評判も上々。1 セクション 12 フェーダー × 3+ マスターというデジタル SR コンソールとしては多くのフェーダーを搭載した使い易い構成で、時間制限が厳しい“コヤ”の現場に即応できます。左上のブランクは本来 PC 置き場ですが、キューシートなど現場に必須の書類を置く場所としても活躍しています。左右に移動することなく手が届くコンパクトなサーフェスも効率よくオペレーションができる要因のひとつ。また、コストパフォーマンスも高く、アーティストの Zepp ツアーが頻繁に行われることを考えてシステムの統一を図りたいと考えていた同社の意向に合致し、Zepp Osaka にも SD8 を同時導入していただきました。メインスピーカーは、「音楽的なナリ」という表現で評された JBL PROFESSIONAL のラインアレイ・システム “VT4889”。パワーアンプは AMCRON のフラッグシップモデル “I-T 9000HD” が採用されています。



◀ 音響担当の上野功太さんにお話をうかがいました。



▲ラインアレイ・スピーカー JBL PRO の VT4889



▲アンプラックに収められた AMCRON の I-T 9000HD

HIBINO

hibino Group

▼ Zepp Tokyo 〒135-0064

東京都江東区青海 1 丁目 3 番 11 号
03-3599-0710
<http://www.zepp.co.jp/>



【運用開始】

2009 年 6 月

【主要な納入機材】

機材	ミキシングコンソール
ブランド名	DiGiCo
製品名	SD8

機材	スピーカー・システム
ブランド名	JBL PROFESSIONAL
製品名	VT4889、VT4880

機材	パワーアンプ
ブランド名	AMCRON
製品名	I-T 9000HD

●お問い合わせ先

ヒビノ株式会社 ヒビノプロオーディオセールス Div.
ヒビノインターサウンド株式会社

TEL : 03-5783-3110
TEL : 03-5783-3880